

04 サステナビリティ 事業継続マネジメント – 危機管理および事業継続力強化への取り組み –

NSKでは「人命の安全確保を最優先する」「社会と協調して災害対応を行う」「重要業務は停止させない、万一、停止した場合でも、速やかに再開させる」という基本方針を掲げています。生産再開までの期間を短縮するために、災害発生時の被害を最小化する減災対策と復旧期間を短縮する対策を徹底するとともに、顧客への製品供給責任を果たすために、生産再開に必要な期間以上の在庫を確保するなどの事業継続計画(BCP)を策定しています。

■ NSKグループの事業継続マネジメント体制

CEO直轄組織として、事業継続マネジメントへの取り組みを統括する「危機管理委員会」を常設し、自然災害、感染症流行、重大事故・事件などのリスク顕在化を想定し、平時からの事前準備と有事の対応を指揮統制する体制を整備しています。また、海外各地域にも事業継続マネジメントを統括する組織を設置し、リスク顕在化時には危機管理委員会がこれらの組織と連携して対処します。

■ 事業継続マネジメント体制および危機管理・BCPの自己点検を実施

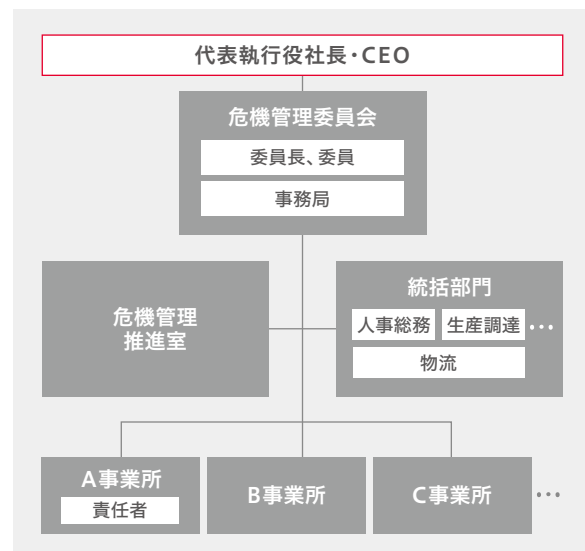
NSKでは、事業継続マネジメント体制について、内閣府 事業継続ガイドラインをベースとした点検シートを準備し、国内外の全地域の本部機能の自主点検と課題の洗い出しを定期的実施しています。また、危機管理・BCPについても、自社で作成したガイドラインに基づき、各事業所の対策状況の現状評価を実施し、課題を明確にすることで、有事に際して迅速に対応できるようにしています。

■ 訓練・ワークショップによる初動および事業継続の対応強化

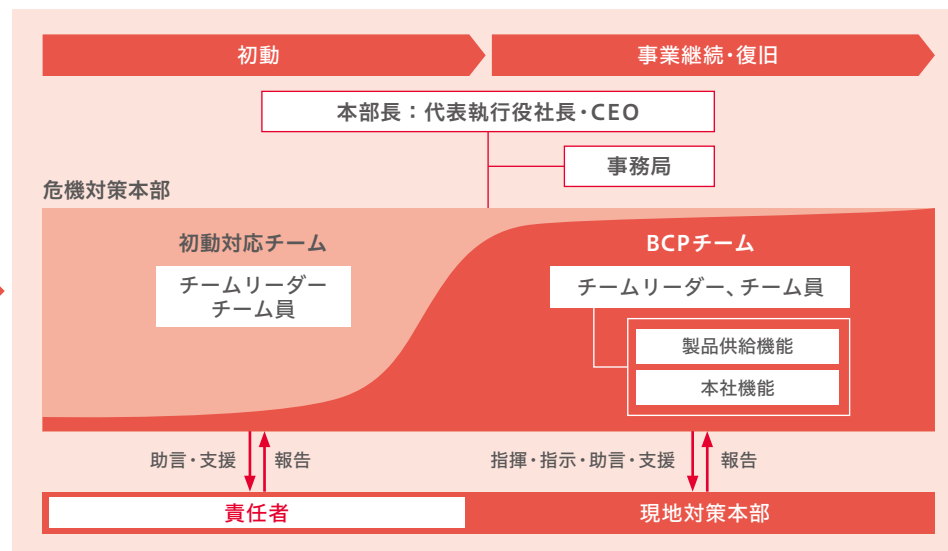
有事における初動対応を強化するために、訓練を従来の本社主導型から、拠点が自主的に実施できるように、FY2022に福島工場をモデルケースとしたマニュアルを整備しました。FY2023に国内全拠点で自主訓練を実施する予定です。

事業継続については、ヒト・設備・インフラなどのリソース別に被害を想定し、各部門において対策実施計画を策定することが重要だと考えます。FY2023は主要拠点でワークショップを実施し、事業継続力のレベルアップを図っていきます。

■ 平時の体制



■ 危機発生時の体制



より詳しい情報は、
こちらをご覧ください。▶

